

個人情報漏えいに関するお詫びとご報告

この度、当院におきまして、下記の個人情報漏えいが発生しました。

関係する皆さまにおかれましては、多大なるご迷惑とご心配をおかけする事態になりましたことを心よりお詫び申し上げます。

今回の事態を重く受け止め、個人情報の管理につきましては、職員に対する教育及び指導を徹底し、再発防止に努めてまいります。

記

1 事案の概要

令和7年11月4日、入院した3人の患者の入院診療計画書について、担当医師よりそれぞれ二部患者に渡したもののうち一部が他患者のものを誤って渡していた。当該患者の一人から控えの氏名が誤っているとの申し出をいただいた後、直ちに誤配付した入院診療計画書の回収を行っており、二次流出の可能性は低いと考えられる。

2 漏えいした個人情報の内容

当院入院中の患者3名の入院診療計画書に記載された内容（患者氏名・ID、生年月日、病名・治療内容、入院日）

3 発生原因

- ①医師が3人分の書類をまとめて印刷したことで、文書が混在するリスクを上げてしまったこと。
- ②医師の整理時の確認も医師より患者に書類を渡すときの内容の確認も不十分であったこと。
- ③入院診療計画書の印刷などを一人で行う状態であり、確認が不十分であることを他のスタッフが指摘できない体制であったこと。

4 再発防止策

職員に対し、複数の書類を印刷する場合は、個人ごと必要書類をまとめて印刷して複数人分を印刷しないようにする。入院診療計画書に限らず個人情報が含まれる書類については患者に渡す前に他スタッフにも正しい書類であることを確認する体制を構築するとともに、個人情報の記載のある書面については、患者に渡す際にも医師が患者と氏名に誤りがないか確認を行うことを改めて指導しました。また、併せて個人情報の重要性和厳格な管理についても周知を徹底し、再発防止に努めてまいります。

令和7年12月25日 横浜労災病院